

平成30年度 東日本大震災による 市内避難者アンケート結果

平成 30 年 12 月
八王子市東日本大震災総合相談センター

1 アンケートの概要

(1) 目的

東日本大震災による避難生活が長期化している中、八王子市内へ避難されている方の生活状況等を把握し、今後の市の支援やサービスのあり方を検討するため

(2) 調査方法

郵送によるアンケート

(3) 調査時期

平成30年10月5日から11月5日まで

(4) 調査対象

八王子市内に避難されている避難者のうち、本市において把握できている避難者 78 世帯

(5) 調査内容

世帯の構成、避難理由、避難生活の状況、今後の生活の予定、情報の入手先・活用、市の情報の重要度・入手状況、市への期待

(6) 回答数

37 件（回答率 47.4%）

※集計は小数点第 2 位を四捨五入しているため、数値の合計が 100%にならない場合がある。また、複数回答の設問はすべての比率の合計が 100%を超えることがある。

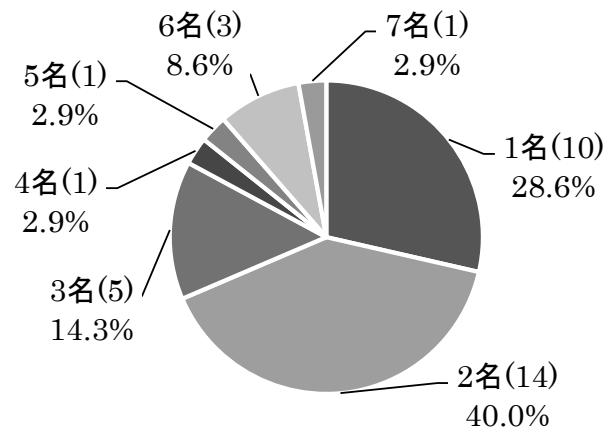
2 アンケート結果

【I】避難生活

[1] 世帯の構成等について

①世帯の人数

回答数=35件

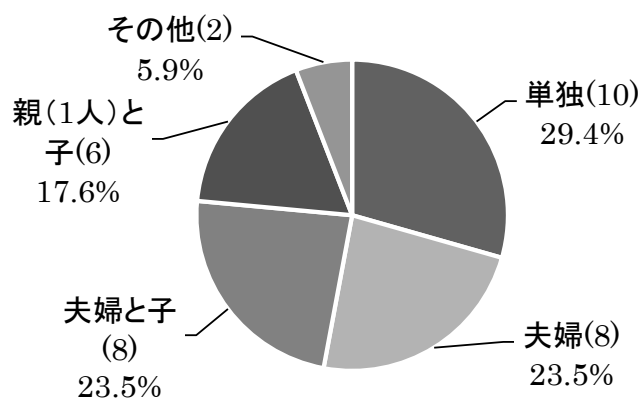


カッコ内は件数

「2名」が14件(40.0%)で最も多く、次いで「1名」が10件(28.6%)、「3名」が5件(14.3%)となっている。

②世帯類型

回答数=34件

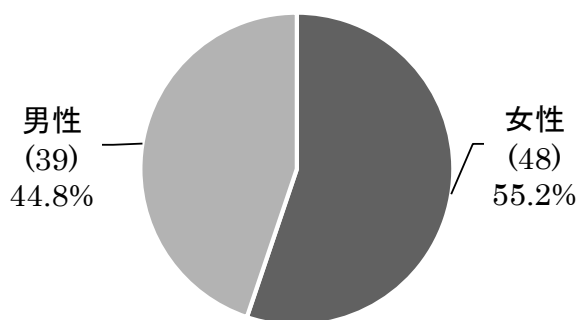


カッコ内は件数

「単独」が10件(29.4%)で最も多く、次いで「夫婦」・「夫婦と子」がそれぞれ8件(23.5%)、「親(1人)と子」が6件(17.6%)となっている。

③避難者の性別

回答数=87人

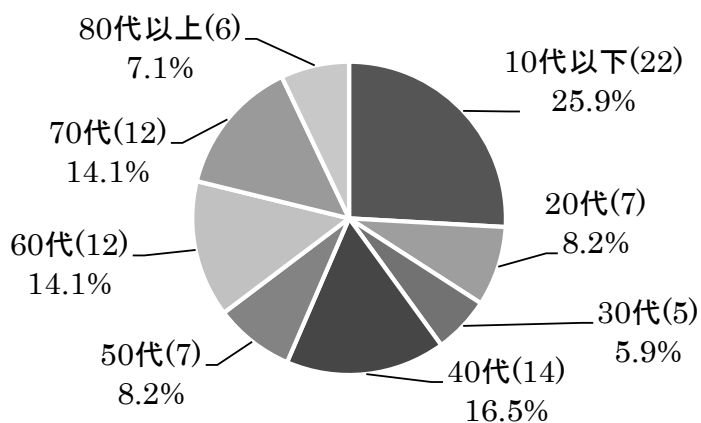


カッコ内は人数

「女性」が48人（55.2%）で、「男性」が39人（44.8%）となっている。

④避難者の年齢

回答数=85人

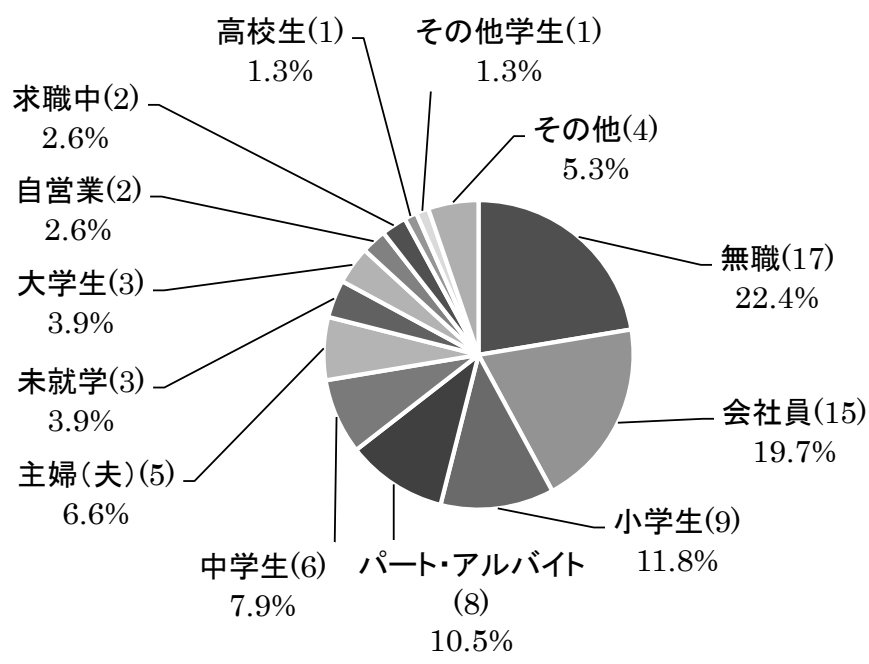


カッコ内は人数

「10代以下」が22人（25.9%）で最も多く、次いで「40代」が14人（16.5%）、「60代」・「70代」がそれぞれ12人（14.1%）となっている。また、参考に65歳以上の高齢者は23人（27.1%）となっている。

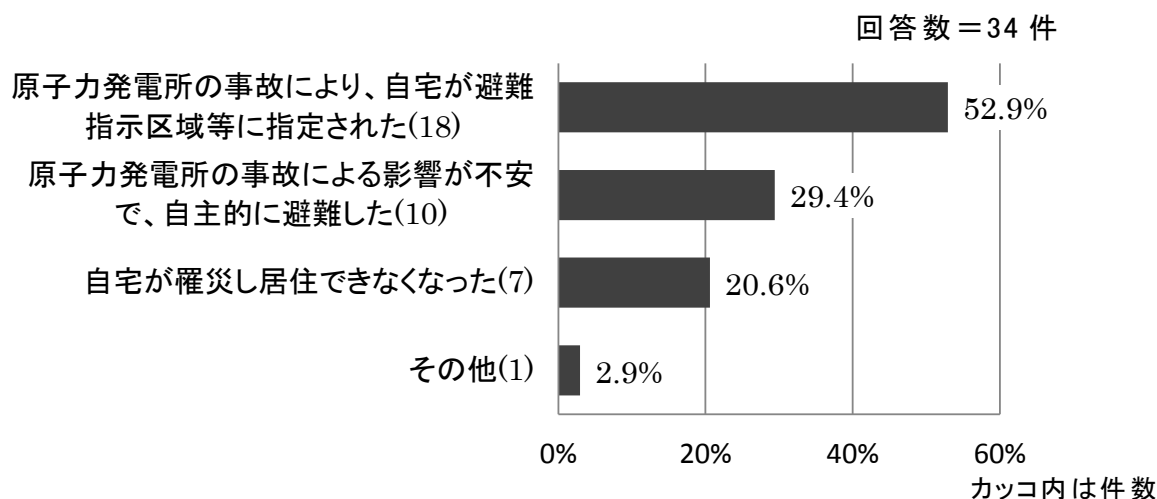
⑤ 避難者の職業

回答数 = 76 人



「無職」が 17 人（22.4%）で最も多く、次いで「会社員」が 15 人（19.7%）、「小学生」が 9 人（11.8%）、「パート・アルバイト」が 8 人（10.5%）となっている。

[2] 避難の理由について（複数回答有）

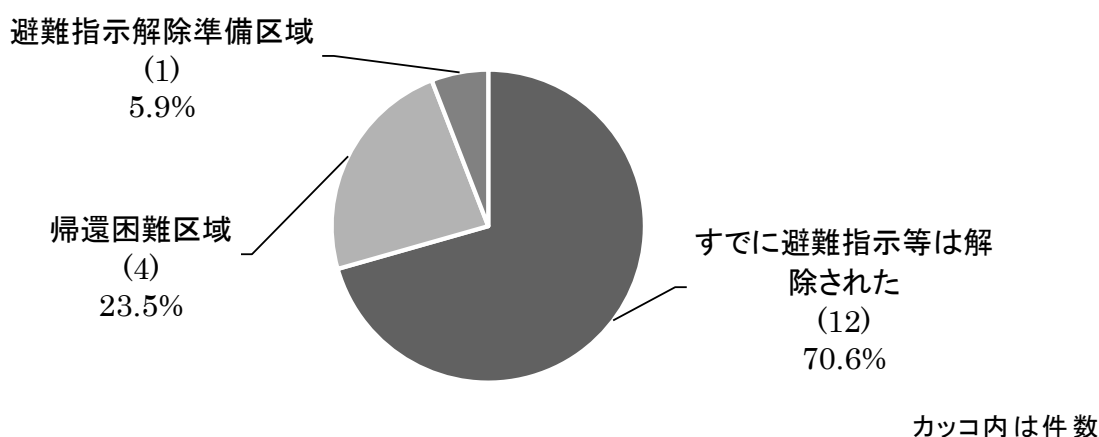


「原子力発電所の事故により、自宅が避難指示区域等に指定された」が 18 件（52.9%）で最も多く、次いで「原子力発電所の事故による影響が不安で、自主的に避難した」が 10 件（29.4%）、「自宅が罹災し居住できなくなった」が 7 件（20.6%）となっている。

[2-1] 避難指示区域等の現状について

（[2]で「原子力発電所の事故により、自宅が避難指示区域等に指定された」とお答えになった方が対象）

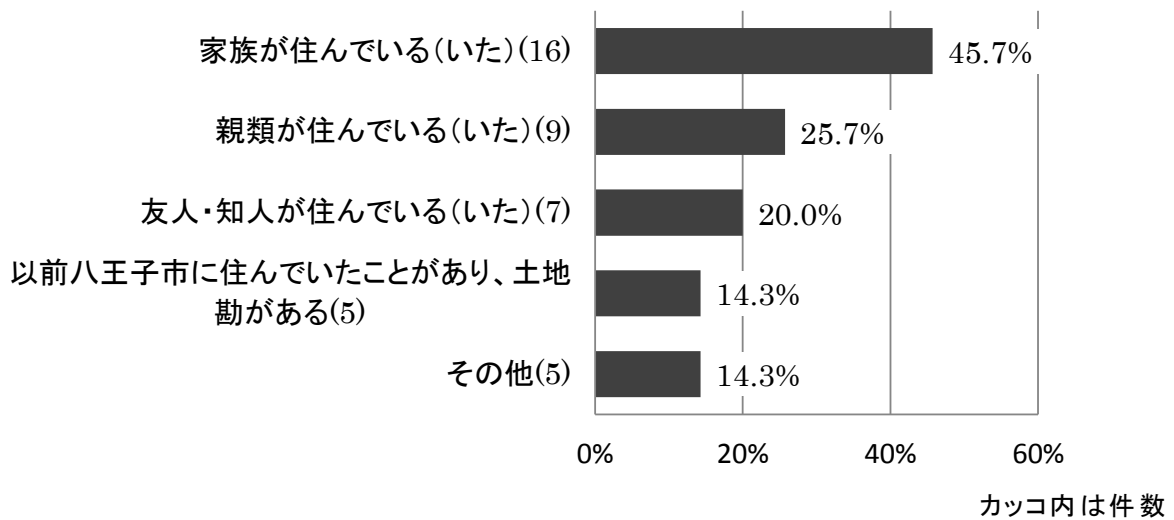
回答数 = 17 件



「すでに避難指示等は解除された」が 12 件（70.6%）で最も多く、次いで「帰還困難区域」が 4 件（23.5%）、「避難指示解除準備区域」が 1 件（5.9%）となっている。

[3] 八王子市に避難した理由について（複数回答有）

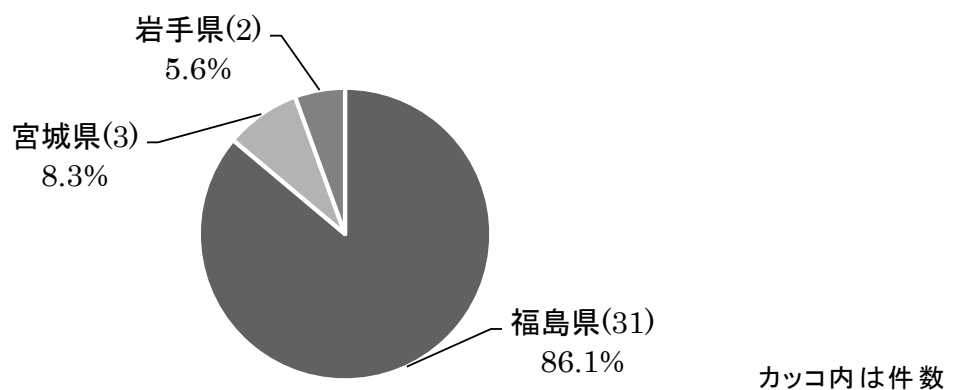
回答数 = 35 件



「家族が住んでいる（いた）」が 16 件（45.7%）で最も多く、次いで「親類が住んでいる（いた）」が 9 件（25.7%）、「友人・知人が住んでいる（いた）」が 7 件（20.0%）となっている。「その他」と回答した理由には、「八王子市に単身赴任していた」、「子の進学先が近かった」などが見られた。

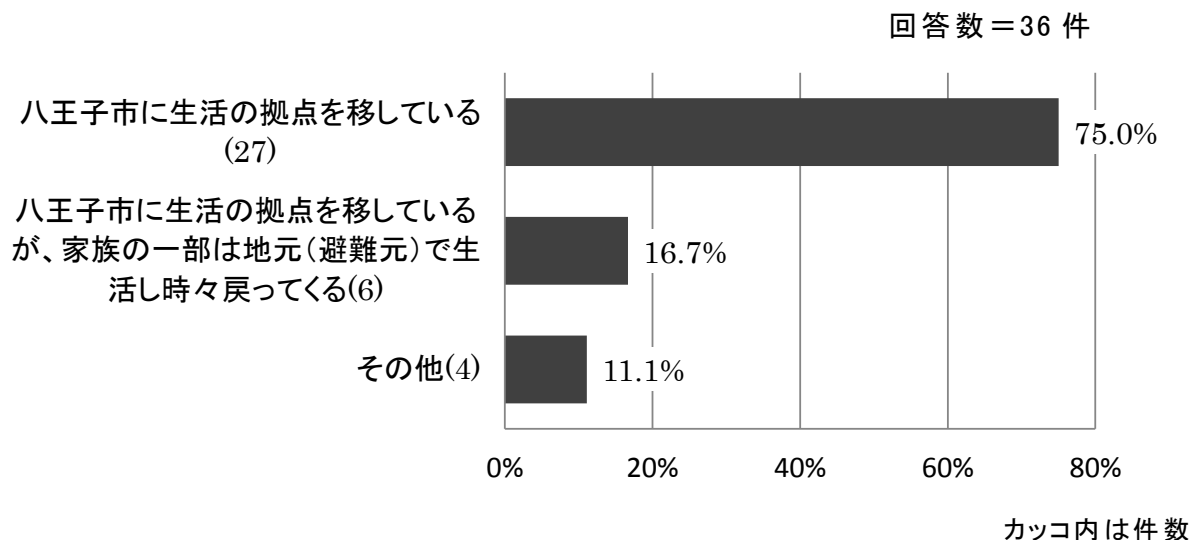
[4] 地元（避難元）の県について

回答数 = 36 件



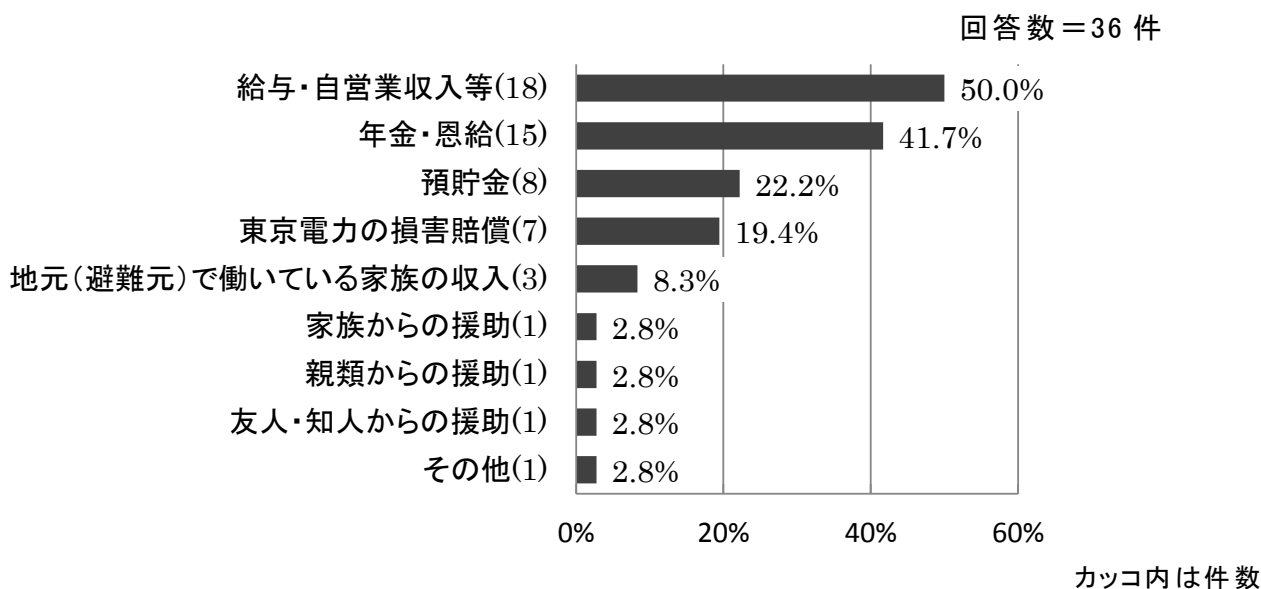
「福島県」が 31 件（86.1%）で最も多く、次いで「宮城県」が 3 件（8.3%）、「岩手県」が 2 件（5.6%）となっている。

[5] 現在の避難生活の状況について（複数回答有）



「八王子市に生活の拠点を移している」が 27 件（75.0%）で最も多く、次いで「八王子市に生活の拠点を移しているが、家族の一部は地元（避難元）で生活し時々戻ってくる」が 6 件（16.7%）となっている。「その他」と回答した理由には、「2 か所に分かれて生活している」、「両親が避難している福島県内と行ったり来たりの状況」などが見られた。

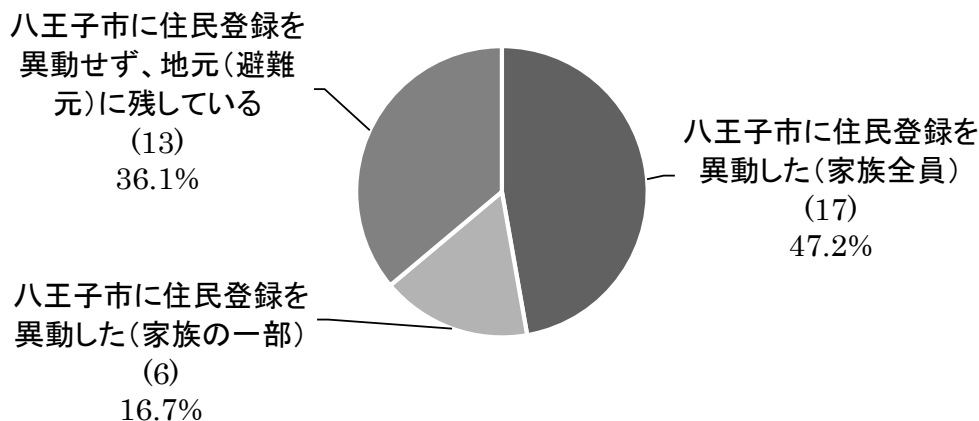
[6] 現在の生活資金について（複数回答有）



「給与・自営業収入等」が 18 件（50.0%）で最も多く、次いで「年金・恩給」が 15 件（41.7%）、「預貯金」が 8 件（22.2%）、「東京電力の損害賠償」が 7 件（19.4%）となっている。

[7] 住民登録について

回答数 = 36 件



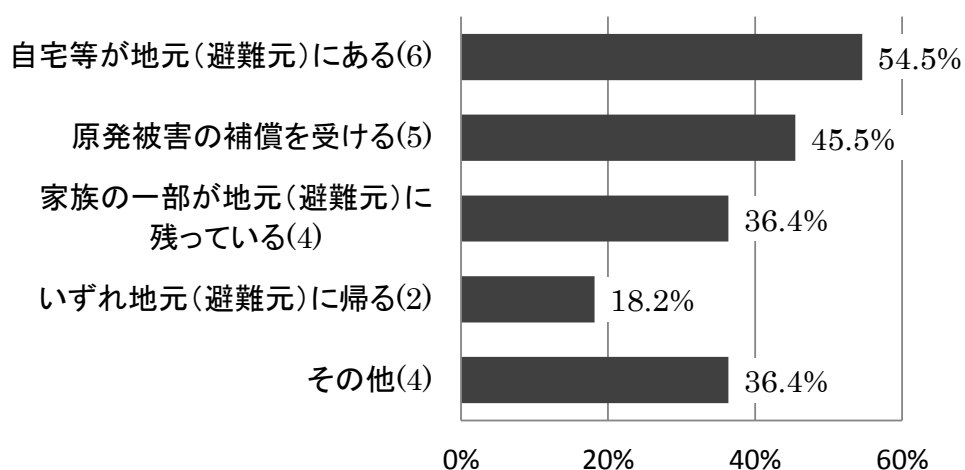
カッコ内は件数

「八王子市に住民登録を異動した（家族全員）」が 17 件（47.2%）、「八王子市に住民登録を異動した（家族の一部）」が 6 件（16.7%）で、あわせて 23 件（63.9%）となっている。また、「八王子市に住民登録を異動せず、地元（避難元）に残している」が 13 件（36.1%）となっている。

[7-1] 住民登録を異動しない理由について（複数回答有）

（[7]で「八王子市に住民登録を異動せず、地元（避難元）に残している」とお答えになった方が対象）

回答数 = 11 件

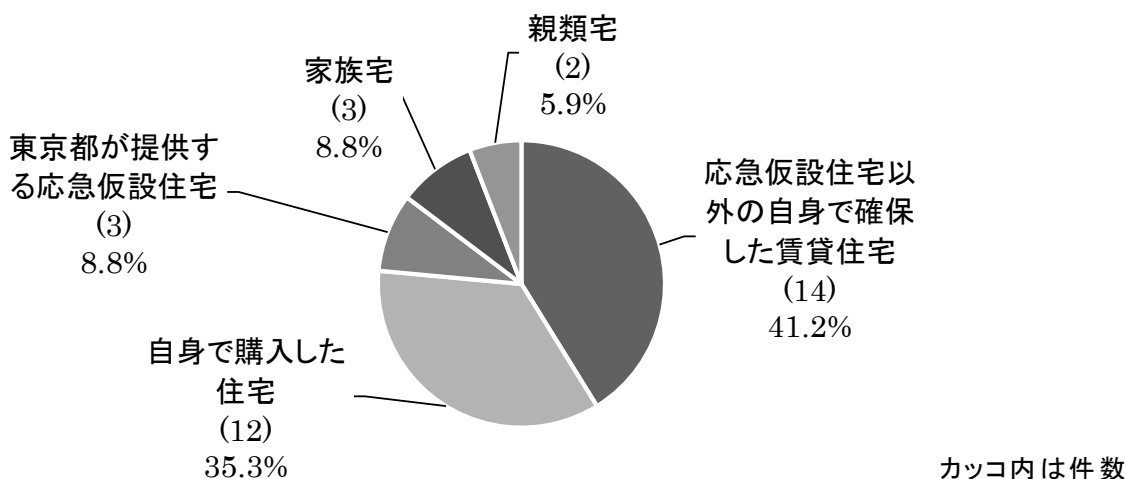


カッコ内は件数

「自宅等が地元（避難元）にある」が 6 件（54.5%）で最も多く、次いで「原発被害の補償を受ける」が 5 件（45.5%）、「家族の一部が地元（避難元）に残っている」が 4 件（36.4%）となっている。「その他」と回答した理由には、「生まれ育った土地なので決断できない」、「地元とのつながりを切りたくない」などが見られた。

[8] 現在のお住まいについて

回答数=34件



「応急仮設住宅以外の自身で確保した賃貸住宅」が14件（41.2%）で最も多く、次いで「自身で購入した住宅」が12件（35.3%）となっている。

[8-1] 応急仮設住宅の提供期間について

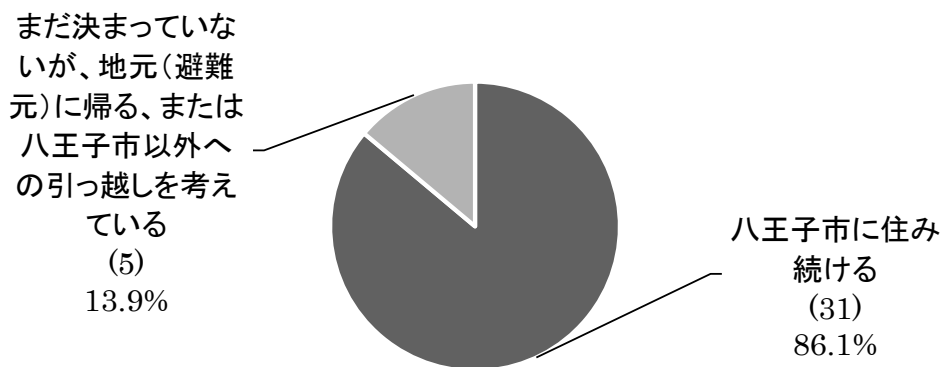
「東京都が提供する応急仮設住宅」にお住まいの3件の方うち、2件の方は「提供期間が延長された」、1件の方は「提供期間が終了する」となっている。

[8-2] 転居予定について

「提供期間が終了する」とお答えになった1件の方の転居予定先については、「決まっていない」となっている。

[9] 今後の居住先について

回答数=36件

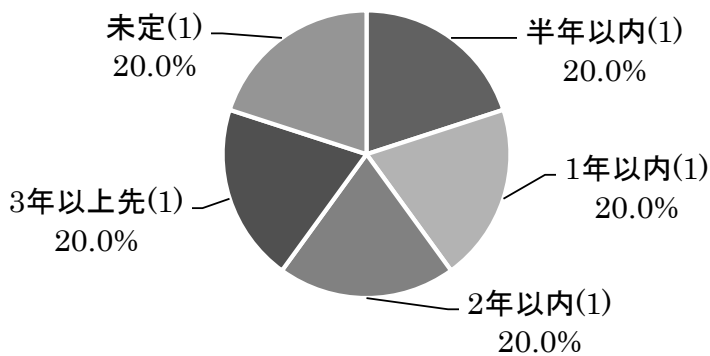


「八王子市に住み続ける」が31件（86.1%）で最も多く、次いで「まだ決まっていないが、地元（避難元）に帰る、または八王子市以外への引っ越しを考えている」が5件（13.9%）となっている。

[9-1] 引越の時期（予定）について

（[9]で「まだ決まっていないが、地元（避難元）に帰る、または八王子市以外への引っ越しを考えている」とお答えになった方）

回答数=5件



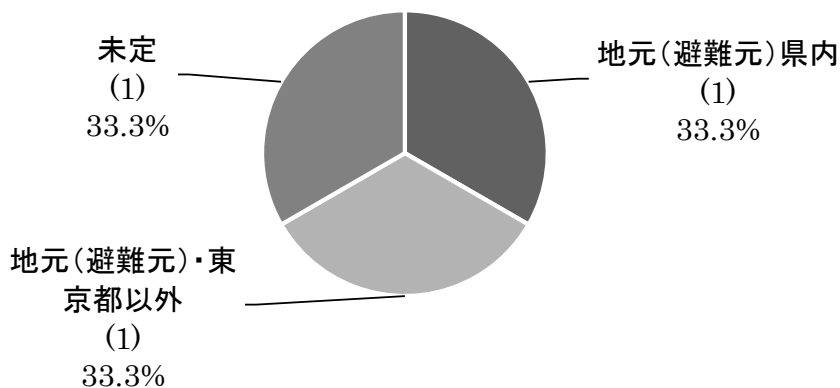
カッコ内は件数

「半年以内」・「1年以内」・「2年以内」・「3年以上先」・「未定」がそれぞれ1件（20.0%）となっている。

[9-2] 引越先について

（[9]で「まだ決まっていないが、地元（避難元）に帰る、または八王子市以外への引っ越しを考えている」とお答えになった方）

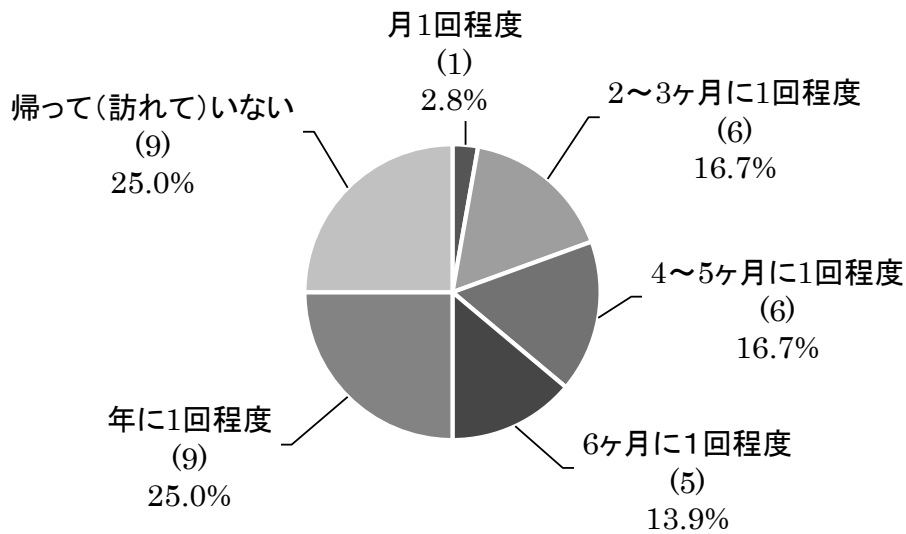
回答数=3件



カッコ内は件数

「地元（避難元）県内」・「地元（避難元）、東京都以外」・「未定」がそれぞれ1件（33.3%）となっている。

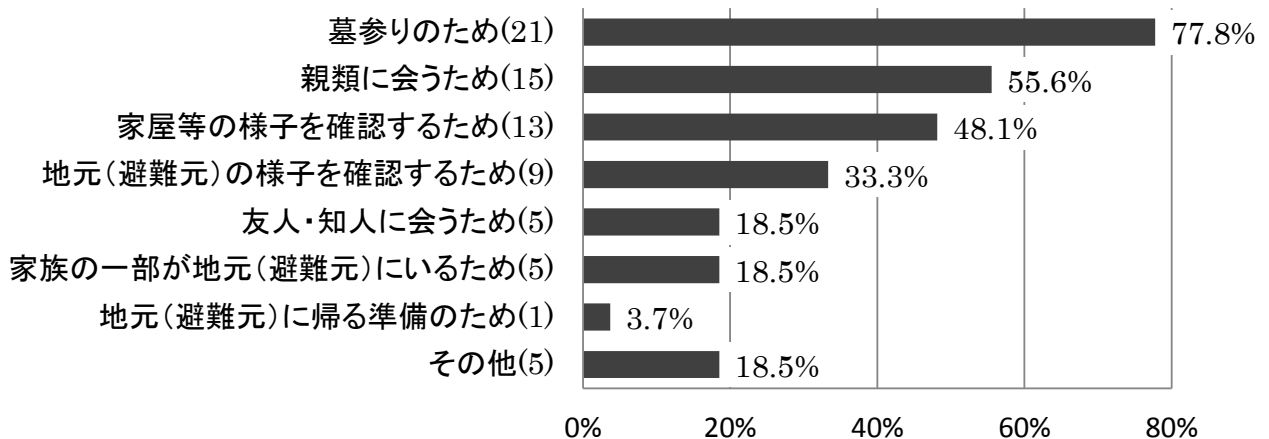
[10] 直近1年で地元（避難元）に帰った（訪れた）頻度について
 回答数=36件



カッコ内は件数

「帰って（訪れて）いない」・「年に1回程度」がそれぞれ9件（25.0%）で最も多く、次いで「2～3ヶ月に1回程度」・「4～5ヶ月に1回程度」がそれぞれ6件（16.7%）、「6ヶ月年に1回程度」が5件（13.9%）となっている。

[10-1] 地元（避難元）に帰った（訪れた）目的について（複数回答有）
 （[10]で「帰って（訪れて）いない」とお答えになった方を除く）
 回答数=27件



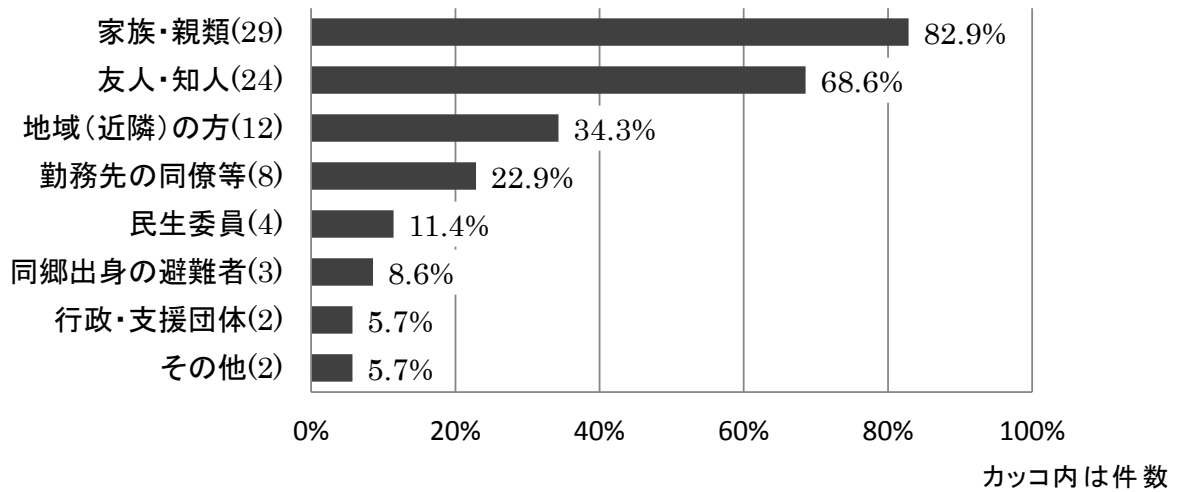
カッコ内は件数

「墓参りのため」が21件（77.8%）で最も多く、次いで「親類に会うため」が15件（55.6%）、「家屋等の様子を確認するため」が13件（48.1%）、「地元（避難元）の様子を確認するため」が9件（33.3%）となっている。「その他」と回答した理由には、「法事のため」、「家の売却のため」などが見られた。

[1 1] 現在の八王子市内での人的交流(相談・話相手等)について

(複数回答有)

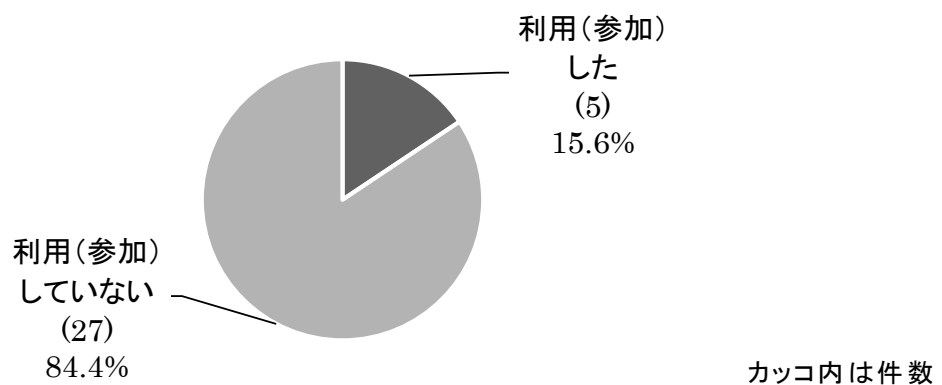
回答数=35件



「家族・親類」が29件(82.9%)で最も多く、次いで「友人・知人」が24件(68.6%)、「地域(近隣)の方」が12件(34.3%)、「勤務先の同僚等」が8件(22.9%)となっている。

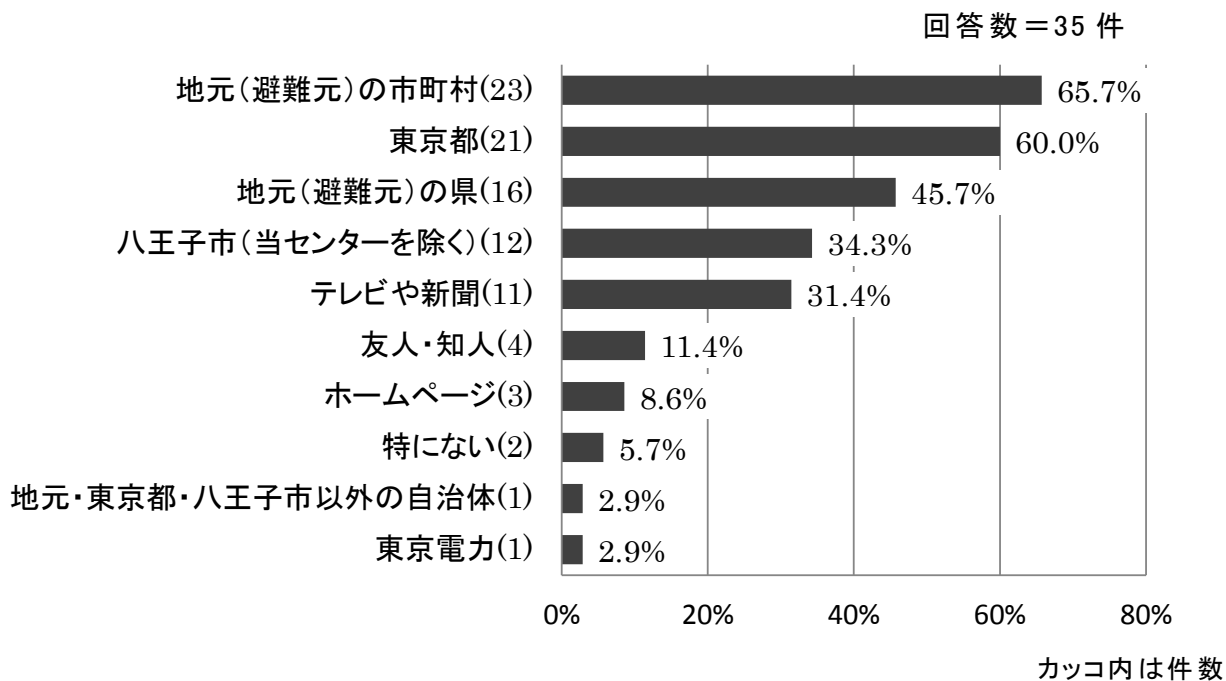
[1 2] 八王子市以外の自治体や市民団体等が実施している避難者向けの支援やサービス、イベント等の直近1年以内の利用・参加について

回答数=32件



「利用(参加)した」が5件(15.6%)、「利用(参加)していない」が27件(84.4%)となっている。「利用(参加)した」と回答した具体例には、「登山やライブなどのイベント」や、「交流会」、「食事会」などが見られた。

[13] 避難者向け各種情報の入手先について（複数回答有）

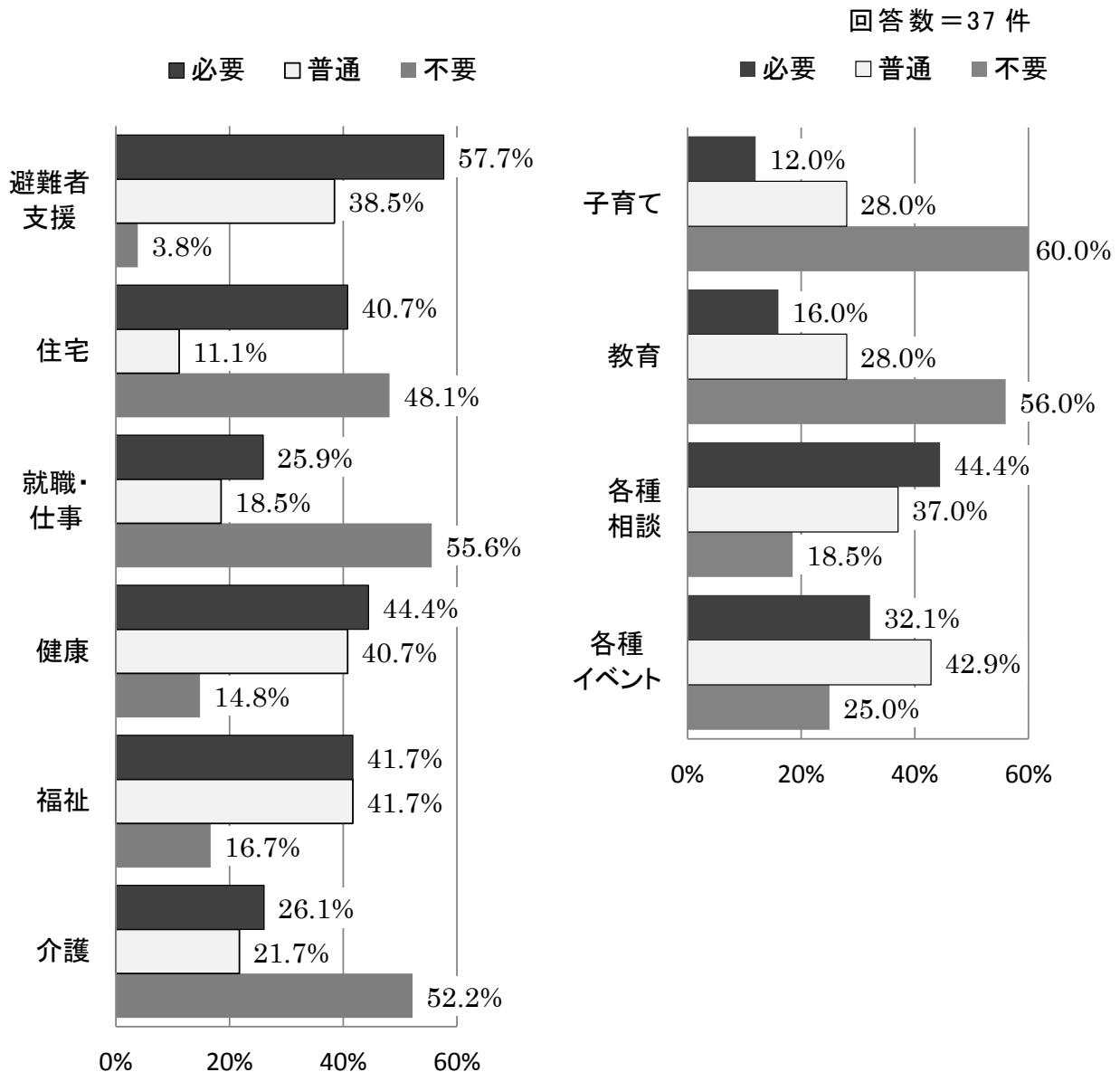


「地元（避難元）の市町村」が 23 件（65.7%）で最も多く、次いで「東京都」が 21 件（60.0%）、「地元（避難元）の県」が 16 件（45.7%）、「八王子市（東日本大震災総合相談センターを除く）」が 12 件（34.3%）、「テレビや新聞」が 11 件（31.4%）となっている。

【Ⅱ】八王子市の支援

[14] 八王子市の各種支援・サービス、イベント等の情報について

① 貴世帯にとっての情報の必要（重要）度

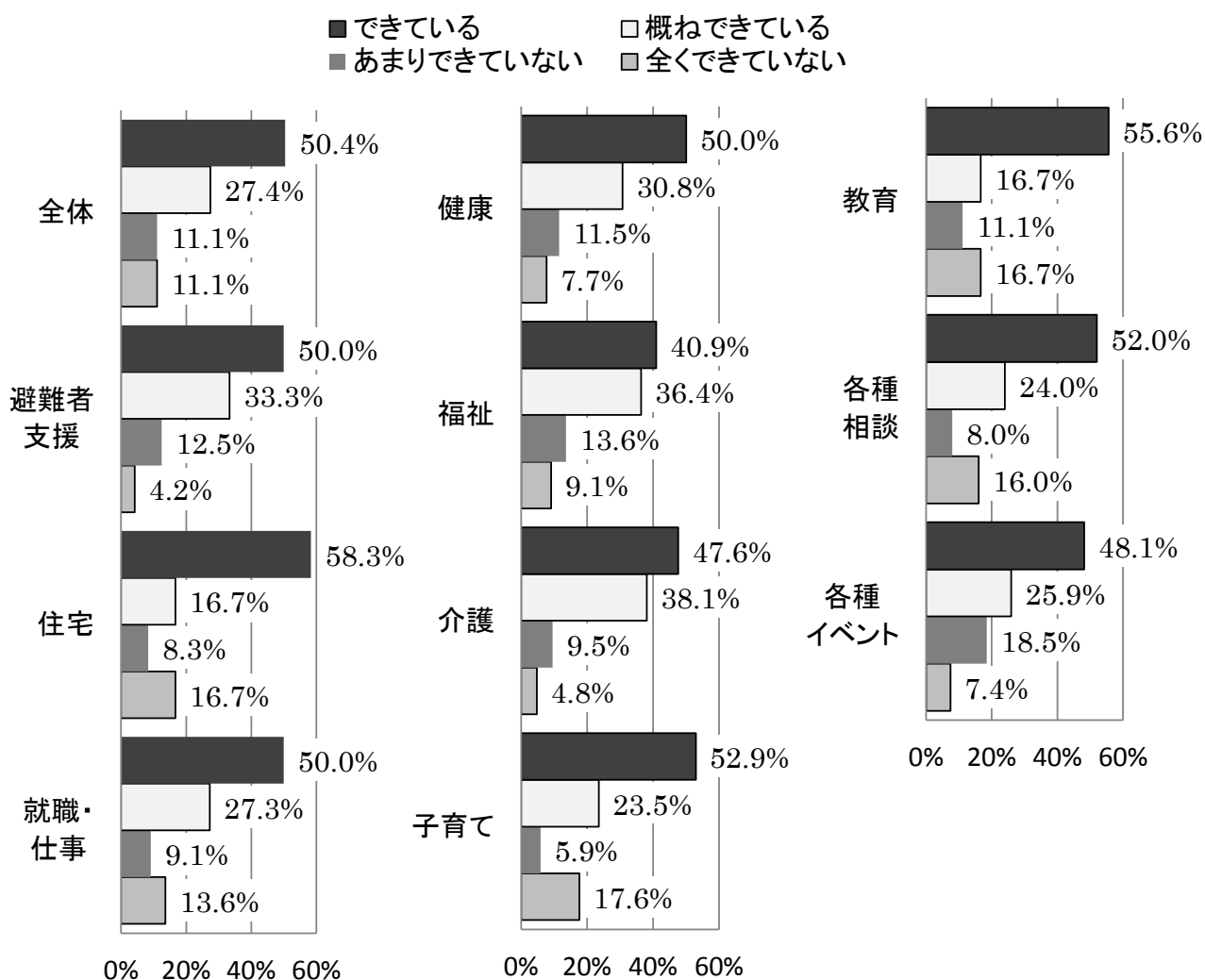


※数値は無回答を除いた割合

- ・必要（重要）度が『必要』は、「避難者支援」が 57.7% で最も高く、次いで、「健康」・「各種相談」が 44.4%、「福祉」が 41.7%、「住宅」が 40.7% となっている。
- ・必要（重要）度が『普通』は、「各種イベント」が 42.9% で最も高く、次いで「福祉」が 41.7%、「健康」が 40.7% となっている。
- ・必要（重要）度が『低い』は、「子育て」が 60.0% で最も高く、次いで「教育」が 56.0%、「就職・仕事」が 55.6%、「介護」が 52.2%、「住宅」が 48.1% となっている。

②情報の入手状況

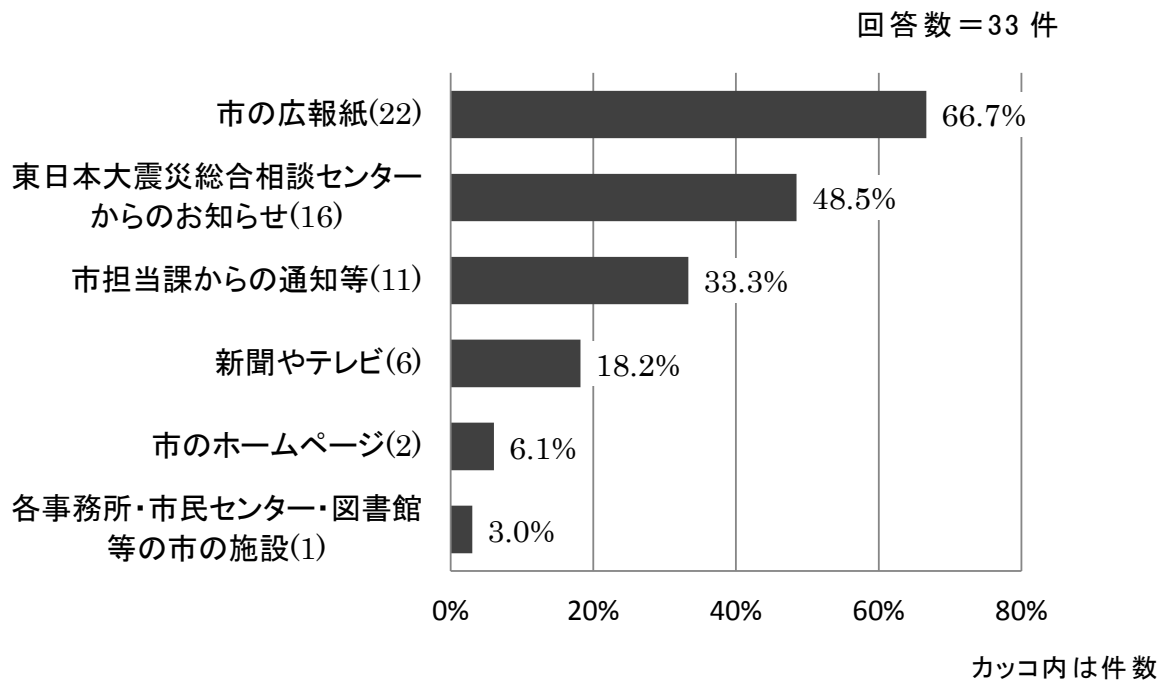
回答数=37件



※数値は無回答を除いた割合

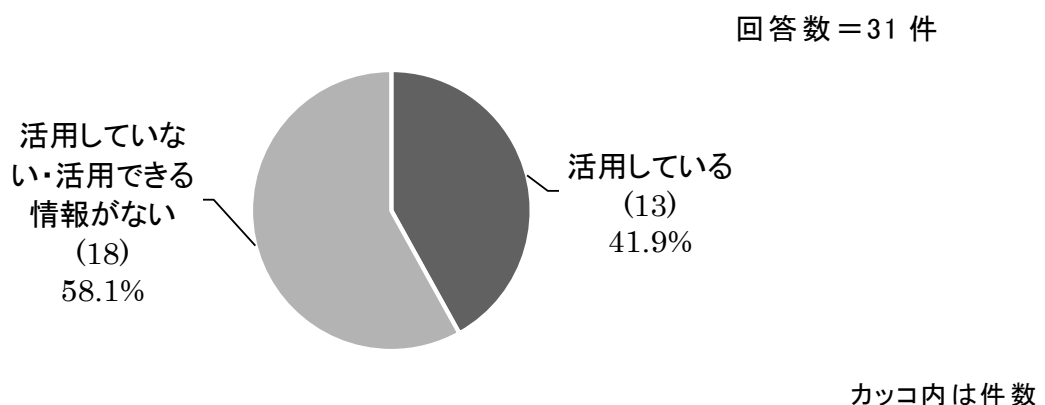
- ・情報の入手が『できている』は、「住宅」が58.3%で最も多く、次いで「教育」が55.6%、「子育て」が52.9%、「各種相談」が52.0%、「避難者支援」・「就職・仕事」・「健康」が50.0%となっている。
 - ・情報の入手が『概ねできている』は、「介護」が38.1%で最も多く、次いで「福祉」が36.4%、「避難者支援」が33.3%、「健康」が30.8%となっている。
 - ・情報の入手が『あまりできていない』は、「各種イベント」が18.5%で最も多く、次いで「福祉」が13.6%、「避難者支援」が12.5%、「健康」が11.5%、「教育」が11.1%となっている。
 - ・情報の入手が『全くできていない』は、「子育て」が17.6%で最も多く、次いで「住宅」・「教育」が16.7%、「各種相談」が16.0%、「就職・仕事」が13.6%となっている。
- ※全体では『できている』が50.4%で最も多く、次いで『概ねできている』が27.4%となっている。

[15] 八王子市の各種支援・サービス、イベント等の情報の入手方法について（複数回答有）



「市の広報紙」が 22 件（66.7%）で最も多く、次いで「東日本大震災総合相談センターからのお知らせ」が 16 件（48.5%）、「市担当課からの通知等」が 11 件（33.3%）、「新聞・テレビ」が 6 件（18.2%）となっている。

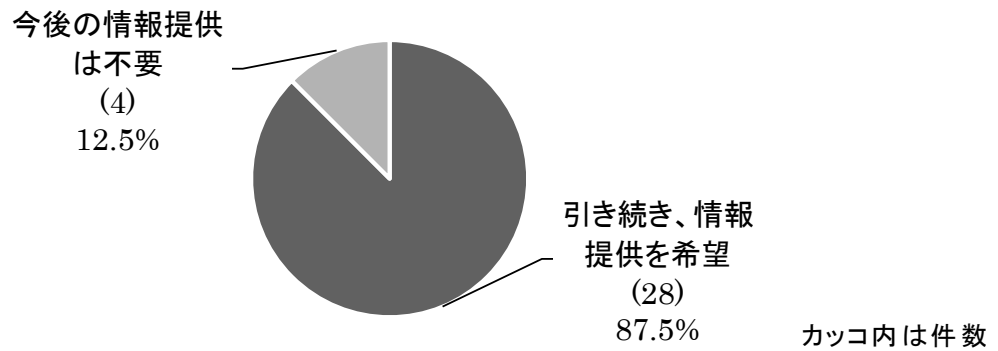
[16] 八王子市東日本大震災総合相談センターから郵送している情報の活用について



「活用している」が 13 件（41.9%）、「活用していない・活用できる情報がない」が 18 件（58.1%）となっている。「活用している」と回答した具体例には、「夢美術館の展覧会」のほか、「ゴミ袋を頂いた」、「医療に関する情報」などが見られた。

[17] 八王子市東日本大震災総合相談センターからの情報の郵送について

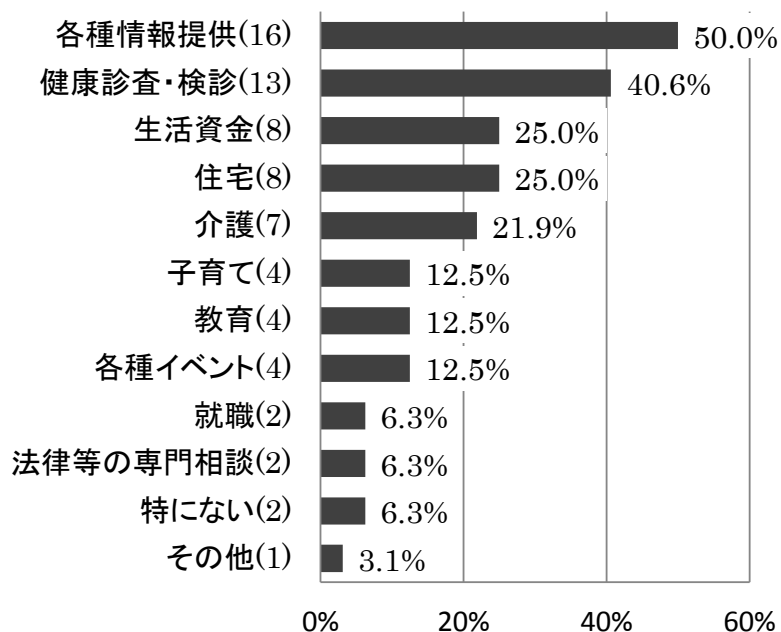
回答数 = 32 件



「引き続き、情報提供を希望」が 28 件（87.5%）で、「今後の情報提供は不要」が 4 件（12.5%）となっている。「今後の情報提供は不要」と回答した理由には、「市内での定住を決めたため」などが見られた。

[18] 八王子市に期待する支援等について（複数回答有）

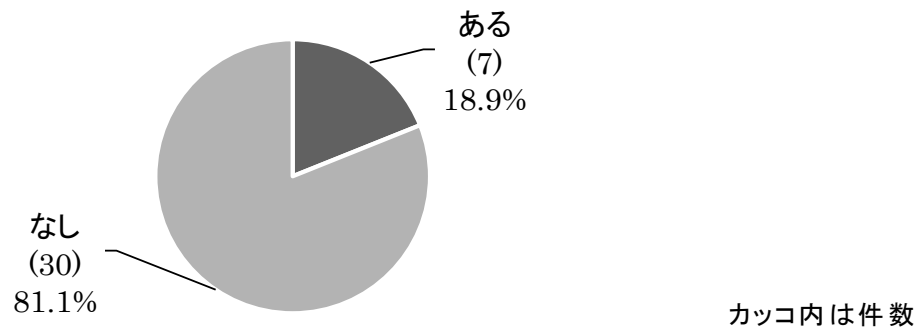
回答数 = 32 件



「各種情報の提供」が 16 件（50.0%）で最も多く、次いで「健康診査・検診」が 13 件（40.6%）、「生活資金」・「住宅」がそれぞれ 8 件（25.0%）、「介護」が 7 件（21.9%）となっている。

[19] 八王子市に相談したいことについて

回答数=37件



「相談したいことがある」が7件(18.9%)で、「なし」が30件(81.1%)となっている。相談したいことの内容には、「住宅」や「介護」のことなどが見られた。

[20] 避難当時から家族構成や就労状況等が変わったことで、現在の生活や心境の変化、その他ご意見等について

全体37件のうち15件(40.5%)にご意見の記入があった。「放射能の影響」や「住宅」、「仕事」、「子育て」、「介護」への不安のほか、「支援への感謝」、「八王子市に住み続ける」などが見られた。

八王子市東日本大震災総合相談センター
(市民部市民生活課内)

☎ 042-620-7424

FAX042-626-2381